

1. y が x の 2 乗に比例する関数 $y=3x^2$ について、下の表の空所に適当な数を入れなさい。

x	...	-3	-2	-1	0	1	2	3	...
y

2. 次のそれぞれの関数について、 にあてはまる数を入れなさい。

(1) $y=2x^2$

x	1	2	3	4	5
y	2	8	18	32	50

Diagram: Arrows show relationships between x and y values. From x=1 to x=2, y increases 2 times. From x=2 to x=3, y increases 3 times. From x=1 to x=3, y increases 9 times. From x=2 to x=4, y increases 4 times. From x=3 to x=5, y increases 5 times. Two empty boxes labeled "倍" (times) are at the bottom, with arrows pointing to the x=1 to x=3 and x=2 to x=4 relationships.

(2) $y=-x^2$

x	1	2	3	4	5
y	-1	-4	-9	-16	-25

Diagram: Arrows show relationships between x and y values. From x=1 to x=2, y increases 4 times. From x=2 to x=3, y increases 3 times. From x=1 to x=3, y increases 9 times. From x=2 to x=4, y increases 4 times. From x=3 to x=5, y increases 5 times. Two empty boxes labeled "倍" (times) are at the bottom, with arrows pointing to the x=1 to x=3 and x=2 to x=4 relationships.

3. 次のうち、 y が x の 2 乗に比例するものをすべていいなさい。

- (ア) $y=2x$ (イ) $y=\frac{2}{x}$
 (ウ) $y=\frac{x^2}{2}$ (エ) $y=-x+2$
 (オ) $y=\frac{x}{2}$ (カ) $y=-2x^2$

4. 関数 $y=ax^2$ について、 x と y がそれぞれ次のような値をとるとき、 y を x の式で表しなさい。

- (1) $x=1$ のとき $y=6$ (2) $x=-2$ のとき $y=5$

5. y は x の 2 乗に比例し、 $x=-3$ のとき $y=-36$ です。このとき、 y を x の式で表しなさい。

6. 関数 $y=ax^2$ について、 $x=-4$ のとき $y=-8$ です。 y を x の式で表しなさい。また、 $x=-3$ のときの y の値を求めなさい。

7. 次の x, y の関係を表した表の中から、 y が x の 2 乗に比例するものを選びなさい。

①

x	-4	-3	-2	-1	0
y	16	12	8	4	0

②

x	-4	-3	-2	-1	0
y	32	18	8	2	0

③

x	-4	-3	-2	-1	0
y	-12	-9	-6	-3	0

④

x	-4	-3	-2	-1	0
y	-10	-6	-2	2	6

次の にあてはまることばや文字をかき入れなさい。

関数 $y = ax^2$ のグラフの特徴をまとめると次のようになる。

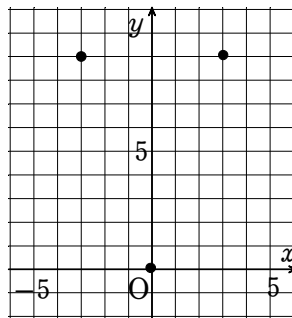
- (1) グラフは とよばれる曲線である。
- (2) 原点を通り, 軸について対称である。
- (3) 比例定数の絶対値が同じで, 符号の異なる 2 つの関数について, そのグラフは 軸について対称である。
- (4) $a < 0$ のときのグラフは に開いた形となる。

関数 $y = x^2$ について, 次の問いに答えなさい。

- (1) 表を完成させなさい。

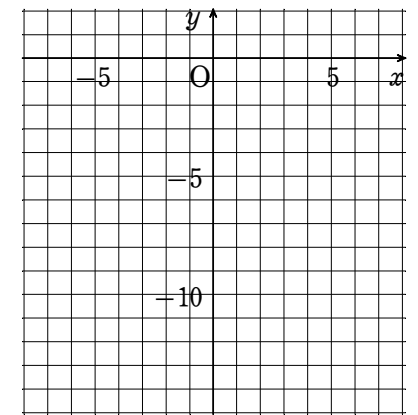
x	...	-3	-2	-1	0	1	2	3	...
y	...	9			0			9	...

- (2) (1) の表の x, y の値の組を座標とする点を右のグラフにかき入れなさい。
- (3) (2) でかき入れた点をもとにして, $y = x^2$ のグラフをかきなさい。



次の関数のグラフをかきなさい。

- (1) $y = -x^2$
- (2) $y = -\frac{1}{4}x^2$



関数 $y = x^2$ について, x の変域が次のときの y の変域を求めなさい。

- (1) $2 \leq x \leq 5$
- (2) $-4 \leq x \leq -1$

関数 $y = -2x^2$ について, x の変域が次のときの y の変域を求めなさい。

- (1) $3 \leq x \leq 5$
- (2) $-2 \leq x \leq 0$

関数 $y = x^2$ について, x の変域が $-3 \leq x \leq 2$ のときの y の変域を求めなさい。

関数 $y = -\frac{1}{3}x^2$ について, x の変域が $-3 \leq x \leq 6$ のときの y の変域を求めなさい。

1. 関数 $y = x^2$ について、 x が次のように増加するときの変化の割合を求めなさい。

- (1) 1 から 5 まで (2) -3 から -2 まで

2. 関数 $y = 3x^2$ について、 x が次のように増加するときの変化の割合を求めなさい。

- (1) 2 から 3 まで (2) -4 から -1 まで

3. 関数 $y = -2x^2$ について、 x が次のように増加するときの変化の割合を求めなさい。

- (1) 1 から 4 まで (2) -2 から 3 まで

4. 関数 $y = -4x^2$ について、 x が次のように増加するときの変化の割合を求めなさい。

- (1) 0 から 4 まで (2) -5 から -2 まで

5. 2つの関数 $y = -2x + 7$ と $y = x^2$ は、 x が a から $a + 2$ まで増加するときの変化の割合が等しくなります。このとき、 a の値を求めなさい。

6. 関数 $y = ax^2$ で、 x の値が 2 から 6 まで増加するとき、変化の割合が 8 となりました。 a の値を求めなさい。

7. 関数 $y = ax^2$ で、 x の値が -5 から -2 まで増加するとき、変化の割合が 2 となりました。 a の値を求めなさい。

8. 関数 $y = ax^2$ について、 $-3 \leq x \leq -1$ の範囲で y が最も大きくなったとき、 $y = 27$ でした。このとき、 a の値を求めなさい。

9. 関数 $y = ax^2$ について、 $-2 \leq x \leq -1$ のとき $5 \leq y \leq 20$ です。 a の値を求めなさい。

10. 関数 $y = ax^2$ について、 $-4 \leq x \leq 3$ のとき $-2 \leq y \leq 0$ です。 a の値を求めなさい。

1. 次のそれぞれの条件にあてはまる関数を、下の①～⑥の中からすべて選びなさい。

- (1) グラフが点(1, 3)を通る。
- (2) $x > 0$ の範囲で、 x が増加すると y が減少するもの。
- (3) $-3 \leq x \leq -1$ の範囲で、 y が最も大きくなったとき $y = -1$ であるもの。

① $y = -2x + 5$	② $y = -x^2$	③ $y = \frac{3}{x}$
④ $y = 3x^2$	⑤ $y = -3x$	⑥ $y = -\frac{1}{9}x^2$

2. 物体がほかからの力の影響を受けずに落下するとき、落下した時間 x 秒と、落下した距離 y m との間に $y = 5x^2$ という関係が成り立ちます。地上 20 m の位置から、球を落下させるときの x の変域と y の変域をいいなさい。

3. 長さが 20 m あるすべり台の上からビー玉を転がすとき、手をはなしてからの時間を x 秒、その間に転がる距離を y m とすると、 x と y の間に $y = 2x^2$ という関係があることがわかっています。このとき、1 秒後から 3 秒後までの平均の速さを求めなさい。

4. 振り子が 1 往復するのにかかる時間を x 秒、振り子の長さを y m とするとき

$$y = \frac{1}{4}x^2$$

という関係があります。

このとき、次の問いに答えなさい。

(1) 1 往復するのに 2 秒間かかる振り子の長さを求めなさい。

(2) 長さが 4 m の振り子が 1 往復するのにかかる時間を求めなさい。

5. 右の図のような長方形 ABCD で、点 P, Q は

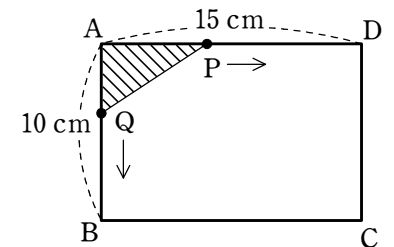
同時に頂点 A を出発し、P は秒速 3 cm で辺 AD 上を D まで動き、Q は秒速 2 cm で辺 AB 上を B まで動きます。

このとき、点 P, Q が出発してから x 秒後の $\triangle AQP$ の面積を $y \text{ cm}^2$ として、次の問いに答えなさい。

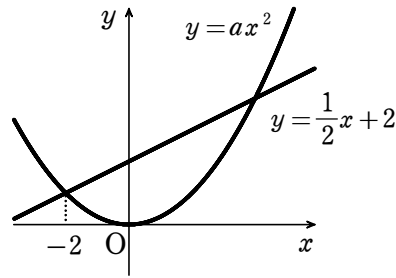
(1) y を x の式で表しなさい。

(2) $x = 4$ のときの y の値を求めなさい。

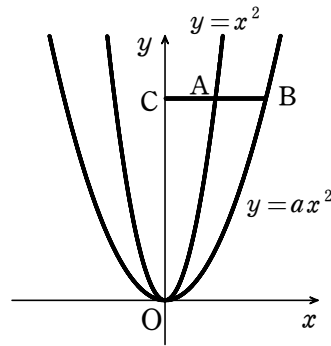
(3) x と y の変域をそれぞれ求めなさい。



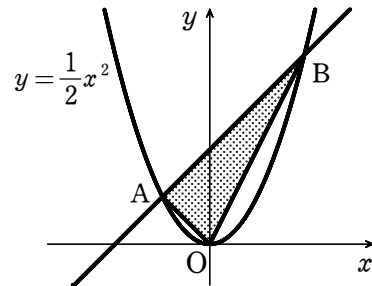
1. 右の図のように、関数 $y = ax^2$ と関数 $y = \frac{1}{2}x + 2$ のグラフが2点で交わっています。一方の交点の x 座標が -2 であるとき、 a の値を求めなさい。



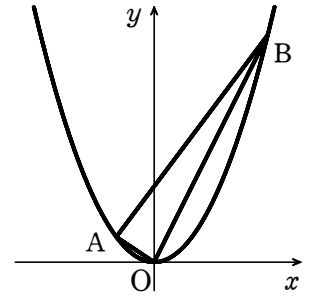
2. 右の図のように、2つの関数 $y = x^2$ と $y = ax^2$ のグラフがあり、直線 $y = 16$ と $x > 0$ の範囲で交わる点をそれぞれ A, B とします。 $y = 16$ が y 軸と交わる点を C として、 $CA = AB$ となるとき、 a の値を求めなさい。



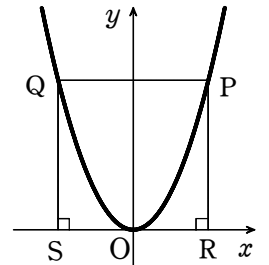
3. 右の図のように、関数 $y = \frac{1}{2}x^2$ のグラフと直線が2点 A, B で交わっていて、点 A の x 座標は -2 、点 B の座標は $(4, 8)$ です。このとき、 $\triangle OAB$ の面積を求めなさい。



4. 右の図のように、関数 $y = x^2$ のグラフ上に点 A, B があり、点 A, B の x 座標はそれぞれ $-1, 3$ です。このとき、原点を通り、 $\triangle OAB$ の面積を2等分するような直線の式を求めなさい。



5. 右の図のように、関数 $y = \frac{1}{4}x^2$ のグラフ上に点 P, Q をとり、点 P, Q から x 軸に垂線 PR, QS をひきます。点 P の x 座標を p として、次の問いに答えなさい。ただし、 $p > 0$ とします。



(1) 点 P の座標を p を用いて表しなさい。

(2) 四角形 $PQSR$ が正方形になるとき、点 P の座標を求めなさい。